



かわさき

回覧板
第10号

川崎小学校
文責 校長

「復興ありがとうホストタウン」事業への参加

「復興ありがとうホストタウン」とは、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体に対し、これまで支援してくれた海外の国・地域に復興した姿を見せつつ、住民との交流を行うホストタウンを「復興ありがとうホストタウン」として新設（2017年9月）し、東京大会に向けた交流を全面的に支援するという事業です。二本松市はクウェートの「復興ありがとうホストタウン」になっています。クウェートは東日本大震災直後、日本に約400億円（うち、福島県に約155億円）の救援金をくださいました。そして、クウェートは射撃の強豪国です。二本松市にも県内唯一の総合射撃場があるので、東京オリンピックを機会に恩返しの意味を込めてホストタウンになりました。

その事業の一環として、このたび二本松市で作られた和紙を活用して市民が作成した押し絵をクウェートに贈呈し、交流を図ることになり、川崎小の5・6年児童が押し絵の作成に参加しました。上川崎の和紙工芸サークル「わがみ会」様との共同制作です。

押し絵は額装し、クウェートの「オリンピック委員会」「パラリンピック委員会」「在日クウェート大使館」に贈呈する予定です。来年1月の作品完成をめざして、現在制作中です。



2学期終了

コロナ禍の中、感染防止に努めながら過ごしてきた2学期も無事終了しました。今学期も、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。2学期を振り返った児童の作文を右に紹介いたします。冬休みは当初の予定どおり12/24～1/7までです。皆様もどうぞ、よいお年をお迎えください。

二学期のはんせいと冬休みの生活
二年 S・A
わたしが二学期にがんばったことは二つあります。
一つ目は、鉄ぼうのさか上がりです。前からさか上がりはできましたが、高い鉄ぼうでもできるように練習しました。雨の日がいよいよ練習しました。とちゅう、まめができました。さいきは、ひくい方から五番目の高さのところでも、さか上がりができました。
二つ目は、かけ算九九をおぼえたことです。毎日たくさん、言う練習をしました。テストでは、一回で合かくできないときもありましたが、あきらめないで続けました。今ではすらすら言えるようになりました。
いよいよ楽しみにしていた冬休みです。毎日、自主学習を小さいマスのノートをつかって進めていきたいです。休みの間も、手洗い、うがい、アルコールしようどくをして、かんせんよぼうをしています。